

# 平成 30 年度 第 6 回番組審議会

## 議 事 録

株式会社エフエム戸塚

横浜市戸塚区川上町 91 番地 1

平成 31 年 3 月 14 日

## 平成 30 年度 第 6 回番組審議会 議事録

- 日 時 : 平成 31 年 3 月 14 日 (木) 13:30~14:30
  - 場 所 : 株式会社エフエム戸塚 会議室
  - 出席者 : 番組審議委員 5 名  
金子富康、齊藤真美奈、齋藤進治、井上弘毅、岩崎高広  
(欠席: なし)
  - 事務局 : 顧問・紺野望、局長・市川靖典 増田一輝
  - 議事録 : 番組審議会事務局作成
- 

### ■議題

1. 番組: 2 月 4 日 (月) 収録放送番組  
「横浜湘南ラジオドラマカフェ」に関するご意見について  
(放送時間 毎週第 1・3 月曜日 10:00~10:55、パーソナリティ: 渡辺とも子)
2. 放送番組全般に関するご意見・ご感想について
3. その他ご意見ご感想について

### ■議事

1. 番組: 2 月 4 日 (月) 「横浜湘南ラジオドラマカフェ」に関するご意見  
～番組の説明～

この番組は毎月、第一・第三月曜日に、横浜・湘南・海外を舞台に描く創作ミニストーリー、文芸作品の名作劇場をお届けします。再放送は同日。14:00~, 19:00~

—各審議委員からの意見は次の通り。

審議委員 (A)

- ・ラジオドラマはとても新鮮な感じがしました。ラジオドラマは想像と共に自分のイメージで物語が見られる良い点もあるし、内容が不明瞭だと想像も難しくなるのでテレビのドラマに比べ耳で聴くラジオドラマの難しさを感じた。番組冒頭のテーマに一貫性があるものなのか、日ごとにバラバラなのかが初めて聞いた人は分からないかもしれない。
- ・冒頭のラジオドラマ 3 本仕立ては世代的にも音楽がハマり聴き入ってしまった。その一方で、冒頭のラジオドラマはストーリーと曲の関係性がうまく汲み取ることができませんでした。
- ・ラジオドラマの難しさとしては、「何かをしながら聴く」のは難しいと感じている。ラジオを聴く時間の中で聴くことが出来れば心地よいものになると感じている。
- ・冒頭にストーリーは誰が作ったのか、テーマが何なのか知りたかった。「永井 荷風」の物語は話が複雑で難しいと感じた。登場人物が多いと何かをしていると聞き逃してしまいそうでした。
- ・リスナー参加型として体験談をドラマにしたりするととても面白いのではないかと思います。

#### 審議委員（B）

- ・懐かしさを感じる放送だった。ラジオは「何かのついでに聴く」というイメージがあったが、ラジオドラマは異なり何かをする時間に聴くと聞き逃してしまい、ラジオドラマを聴く時間が必要だと感じた。放送時間帯も何かをしている時間ではあると思います。
- ・季節柄テーマがしっかりしていた。作った人の想いや苦勞が感じられた。創作ドラマは個人的に好きな所ではあった。
- ・「バレンタインガール 80S」の3本仕立てはドラマごとのつなが目が分からず気づいたら3本放送されている感覚になってしまった。内容はとても作り込みがされているため、ドラマごとの区切りがもう少しあれば分かりやすい。

#### 審議委員（C）

- ・ドラマというのは初めてで、冒頭は渡辺さんの優しい語り口やピアノのゆっくりした音楽がとても心地よかった。
- ・私もラジオという固定概念が「何かをしている時」に聴くものだと思っていたため、とても新鮮だったし、戸惑いでもありました。最初はとても心地よいと感じたが、だんだんとゆったりとした放送の中でCMと番組の境目、番組とコーナーの場面転換がイマイチ分からず聴き戻す作業が必要だった。
- ・ラジオドラマは初めてだったのでリスナーとのキャッチボールやリスナーの想いが反映する事が難しい番組だと感じた。ラジオドラマにリスナーとのやり取りがあれば私個人として面白いと感じました。

#### 審議委員（D）

- ・3回ほどイヤホンで聴きみました。3回聴いてこのような構成や放送なのだと感じた。「バレンタインガール」はとてもロマンティックに感じた。曲がフルコーラスであるのは長い感じがしたが、次のストーリーの準備にもなった。結末がはっきりとしない分、自分で想像する事ができた。
- ・家具のコーナーでは、カードの整理の話題は、そこまで家具屋さんがやってくれるのかと思い面白く感じた。
- ・創作ドラマではNHKの加藤道子さんと森繁久彌さんのドラマを聴いたことがあり、今回の放送と比べた所、年寄りの配役の声に関しては私たちの年齢からすると少し若いと感じがした。創作ドラマを現代風にアレンジすればとても楽しいものとなり、すんなりと聴くことができると感じました。

#### 審議委員（E）

- ・時間帯が一回目の午前の時間帯だと車を運転している人にとっては少し聴きづらいのかと思う。

放送内では社会情報（交通情報など）は放送内容に無いため、それを目的としている人のためにも一部に社会情報を入れてみてはどうかと思った。

- ・聴きなおしてみると「面白い」と思いました。ラジオドラマは一度も聞いた事がなかったが、私個人としては面白く感じた。机に置いてゆったり聴きたくなりました。ラジオは音楽を聴くものだと感じていたのでストーリーを聴くことが新鮮で次は目的として聴きたいと感じたいと思いました。

#### 一各審議委員からの意見に対し、事務局からの回答は以下の通り。

- ・コミュニティ放送でラジオドラマを作れるのはなかなか無い。何故なら台本を書いたりする人がおらず、なかなか難しい。コミュニティ放送では稀にみるレギュラー番組企画なのでかなり貴重である。渡辺さんが力を籠めて制作していて、貴重な番組でもある。ただその一方、一生懸命に作っている分、自分が入り込み過ぎ、聴いている人の立場になって聴かせる事が少し欠けている部分があると思う。
- ・「バレンタインガール 80S」はストーリーに沿った音楽ではなく、曲のイメージで作っている。また、3本は同じストーリーではまったく別の物語である。そのドラマのエッセンス聴いてともらうというのが本来の趣旨であり、これらが3本並び詳しい説明がないとテーマや内容がぼけてしまうため、構成がうまくなされていなかった。皆様が聴いていて内容の理解や疑問が生じた原因でもあります。ストーリーの「起承転結」と楽曲に触れテーマ内容を少し説明してあげると3本の独立した物語をうまく聴くことができると思います。中身はとてもよく仕上がっているため、構成をしっかりしてあげれば聴き応えのあるいいものにもっとなると思います。
- ・創作ドラマは、新しい文学作品を取り上げる事が出来ない。著作権問題に触れてしまうため、作者が死亡50年以降でないといけない。したがって明治大正期の作家の作品になってしまう。今回のドラマは効果音などをうまく使用し内容は良いものである。渡辺さん一人で作り、また声の出演もしているのもとても貴重な人材の一人だと考えております。

#### 2. 放送番組全般に関するご意見・ご感想について及び、3. その他ご意見ご感想について

##### 審議委員（A）

- ・リスナーからの反応や意見はどういう形で反映されているのか。
- ・今回事務局から、冒頭の趣旨をレクチャーされやっとう理解できた。見方が大きく変わりました。再度家に帰ったらそれらを踏まえて聴きなおしてみたいです。

##### 審議委員（B）

- ・お一人でやられている部分はとてもすごいと思いました。大変貴重な番組だと認識しました。

##### 審議委員（C）

- ・家具屋さんのエピソードは毎回あるのでしょうか。

#### 審議員（D）

- ・企業や団体の様なスポンサーとしての支援でラジオ局を支える形と行政や公共機関の様に災害などの備えの兼ね合いで協力しながら支えているという形がありますが、エフエム戸塚ではどの様な経営方針があるのでしょうか。

#### —各審議委員からの意見に対し、事務局からの回答は以下の通り。

- ・番組自体は収録放送なので、例えば生放送で作ったドラマを流しその中でドラマの感想や意見を読むことが出来れば理想の形だと思います。ドラマは録音、ナレーションは生放送という形があるが、手が込んでしまい、現実には難しい。もしこの形態ができればリスナーとのやり取りも可能となるのですが・・・。
- ・CMはスポンサーと一緒にドラマを制作しています。家具屋がスポンサーのため、家具に沿ってラジオドラマを作成しています。スポンサーとある程度ご相談させて頂き放送をさせて頂きます。今回新たなスポンサーも付きますので是非ともお楽しみにお待ちいただければと思います。
- ・コミュニティ放送にはその「成り立ち」が異なることが多い。弊社の様に純民間企業が主体になっている企業があれば役所や行政が主体となり成立している局、商工会議所が主体となっている局もあります。その形態の在り方で、経営内容もことなってきます。その点FM戸塚はパーソナリティ自ら営業を展開して、自らスポンサーを獲得するということが多く、この点は大いに評価されていいと考えます。

#### ■審議会は、次回の日程を確認し終了した。

次回開催日：平成 31 年 3 月 14 日（木） 13：00～14：00